



大正画月新所張 四十六

明治八年六月廿午後二時

頃東京芝本町を若者二人が

さし持て来る菟世式ハ老女不定の

何と云ふもあま元気のひま声の

ユキヨシの拍子のまづみ桶の輪がね底

ぬけて男七者が寄渡りうらやしく轉げ出し

此兩人大さげ胸の早がひ責念佛六道經の途方

くれ共中往生まろ有さま見うめて迎傍の采やうり

荒縄を手へ呈まよふ息吹うへ漸くなげ厚く

謝して初ふかまうて徐やう三田の方へ殊勝なま

あうふあひ行の報知六百八十九号に出世り

文花堂誌

新所張

新所張
四百九十一

